

# 名探偵は論理的なのか

ロジックマスターズ

神奈川県立神奈川大学附属高等学校 1年 赤松千晶 赤星結衣 中学校 3年 横山瑞季

## (1)背景・目的

推理小説に登場する名探偵が、犯人を特定するためやその他の目的で行った推論は、論理的に正しかったのだろうか。犯人が他にいる可能性は本当にゼロだったのか。今回、私たちはいくつかの小説を題材として、登場する名探偵の推論が本当に正しかったのかを推論規則を用いて調査する。

## (2)調査方法

三人の作者による推理小説を読み、名探偵が行った推論箇所を8件ずつ抽出し、推論箇所ごとに以下の3点について判定する。

### ①推論規則（三段論法、仮説形成、不明）

- ・三段論法：前提から論理的に結論を導き出す方法（例「P or Q」「not P」から「Q」）
- ・仮説形成（後件肯定）：事実を論理的に導き出せる仮説を推論する方法（例「PならばQ」「Q」から「P」）この推論は常に正しいとは言えない

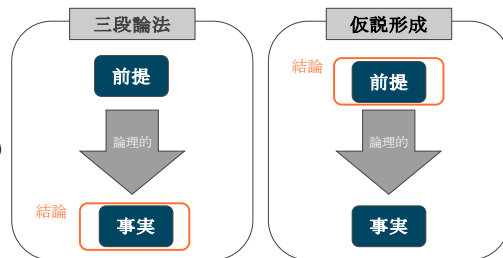
### ②情報の開示（公開、非公開）

- ・推論に使われたであろう証拠が結論が導き出されるまでに読者側に明かされていたか否か

### ③証拠の必然性（必然、偶然）

- ・探偵自ら証拠があると確信して行動して発見した証拠は必然、それ以外の発見は偶然に分類した

それにより、作者毎の推論規則と証拠品の傾向についてまとめる。



## (3)結果（作家別と合計）

作家	①推論規則	②情報の開示	③証拠の必然性	傾向
作家1	<p>作家1のデータ</p> <p>仮説形成 12.5%</p> <p>三段論法 87.5%</p>	公開：0 非公開：8	必然：8 偶然：0	<p>〈作家1の傾向〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・三段論法が多いので、論理的</li><li>・読者に公開されていた情報で推理することはできないので、アンフェア</li><li>・必然的に見つかった証拠のみ</li></ul> <p>この探偵は論理的に賢いが、証拠について読者は納得できない</p>
作家2	<p>作家2のデータ</p> <p>不明 25.0%</p> <p>三段論法 37.5%</p> <p>仮説形成 37.5%</p>	公開：5 非公開：3	必然：5 偶然：3	<p>〈作家2の傾向〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・三段論法と仮説形成が同じぐらいの割合</li><li>・読者に公開されていた情報で推理できるものもある</li><li>・必然的に見つかった証拠も偶然的に見つかった証拠もある</li></ul> <p>この作家は論理的なもの非論理的なものバランスが良い</p>
作家3	<p>作家3のデータ</p> <p>不明 12.5%</p> <p>三段論法 37.5%</p> <p>仮説形成 50.0%</p>	公開：5 非公開：3	必然：6 偶然：2	<p>〈作家3の傾向〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・仮説形成が多めなので、非論理的</li><li>・読者に公開されている情報から推理できるので、フェア（犯人視点で物語が進んでいくものも多く存在する）</li><li>・必然的に見つかった証拠が多い</li></ul> <p>この探偵は勘が良い賢さを持っていて、読者も納得できる</p>

## (4)考察

- ・名探偵と呼ばれる人の推理でも非論理な場合があるとわかった。
- ・探偵が感覚や持論を用いて推理することもあった。
- ・探偵の能力の高さの演出の一環として、推理に使った情報が公開されていないこともあった。
- ・長編と短編集では、同じ名探偵でも推理の傾向が多少異なっていることが多かった。

## (5)今後の展望

- ・作品ごとの人気度と論理性の関係も調査していきたい。
- ・完全に客観的な分析が難しいので、良い方法を追求したい。
- ・長編と短編の比較も行いたい。

## 参考文献

1. 江戸川乱歩著 『D坂の殺人事件』（2016年）角川文庫
2. 江戸川乱歩著 『怪人二十面相』（2008年）ポプラ社
3. 江戸川乱歩著 『江戸川乱歩全集第1巻 屋根裏の散歩者』（2004年）光文社
4. アガサ・クリスティー著（長野きよみ訳）『三幕の殺人』（2003年）早川書房
5. アガサ・クリスティー著（中村妙子訳）『ブラック・コーヒー[小説版]』（2004年）早川書房
6. アガサ・クリスティー著（真崎義博訳）『ポアロ登場』（2004年）早川書房
7. コナン・ドイル著（深町眞理子訳）『緋色の研究』（2010年）創元推理文庫
8. コナン・ドイル著（深町眞理子訳）『シャーロック・ホームズの冒険』（2010年）創元推理文庫
9. 三段論法 <https://ja.wikipedia.org/wiki/三段論法>（2023年11月5日閲覧）
10. 後件肯定 <https://ja.wikipedia.org/wiki/後件肯定>（2023年11月5日閲覧）